

三 Kの告白

- 1 ・いつもに似合わない話を始める。
 - ・お嬢さんのこと
- 2 ・不思議の感に打たれる。
- 3 ・口元の肉が震える。
- 4 ・お嬢さんに対するせつない恋を打ち明ける。
- 5 ・魔法の棒で化石にされたよつになる。
 - ・思考と生命さえ停止する。
- 6 ・人間らしい気分を取り戻した。
 - ・しまった、先を越された。
 - ・自分の利益を考える。
- 7 ・苦痛と恐ろしさをを感じる。
 - ・どうにかしたいが、どうしていいかわからない。
 - ・相手は自分より強い。
- 8 ・自分のことに集中して私に注意する暇がなかった。
- 9 ・悔恨にゆられてぐらぐらする。
 - ・自分の心もKに打ち明けるべきはずだったのに時機が遅れた。
 - ・不自然に打ち勝つ方法を知らなかった。
 - ・Kの告白に一段落ついた今になって、こちらから同じことを切り出す。
 - ・Kが告白したから自分も好きになったように思われる。
- 10 ・いつもは気にならない襖の向こうが妙に気になった。

私とKの心の壁
- 11 ・Kのことを考えながら散歩する。
 - ・Kが解しがたい男のように見えた。
 - ・なぜ突然私に打ち明けたのか。
 - ・どうしてKの恋が募ったのか。
 - ・平生のKはどこへ吹き飛ばされたのか。
 - ・永久にKに祟られたよつな気がする。